

事業名

コミュニティカフェ開設支援事業

評価項目

No	項目	記入欄 内容が分かるように、 <u>200 字以上～300 字以内</u> で簡潔にまとめて記載してください。	自己採点
1	成果目標	<p>コミュニティ開設講座終了3カ月後に開設準備を本格化させている人が3割以上いるかを成果目標に置いていた。</p> <p>受講前から始めている、運営に関わっている：4人、一般的なカフェを運営しているが、それをコミュニティカフェにしようとしている：2人、講座をきっかけに、常設か、単発ではあるが日替わりのコミュニティカフェを開いた：11人、現在準備中で、数カ月以内に開く予定：5人、時期ははっきりしていないが、近いうちに開くと思われる：7人となり、1～3期のだぶりを除いた計59人のうち、約半数の29人がコミュニティカフェを始めたり、準備中であることがわかった。</p>	4
2	市民性	<p>コミュニティカフェ開設講座説明会には145人、成果発表会に69人、研究会に69人～20人が参加し、コミュニティカフェに対して市民が高い関心を持っていることがわかった。説明会のアンケートでは講座を「ぜひ」「時間が合えば」受講したいという人が半数近くに上り、第1期には定員の2.4倍の人が応募し、受講したいという問い合わせは宮城・福島・兵庫の人からもあった。</p> <p>しかし、3期講座の受講生のうち、NPO等団体関係者は11人と、予想以上に少なかった。1期受講生を中心にした「なかのコミュニティ研究会 てたて」のグループにNPO設立の動きがあるので期待している。</p>	4
3	波及効果	<p>中野区内を中心にコミュニティカフェという言葉の認知度が高まり、受講生と区内のカフェとの交流が始まっている。</p> <p>見学は中野の外の区市にも行ったし、中野でおしえた講師がほかの区市町村で講義を行うこともできるので、熱意がある区市町村やNPO等があれば、同様の事業を行い、成果を出すことは十分可能である。地域にどのような課題があるかを考えさせ、地域の人を巻き込んで、ネットワークを組んでいくことがポイントである。</p>	4
4	継続性	<p>長寿社会文化協会を中心に、平成25年度以降も受講生の支援や受講生相互の交流を図り、より多くのコミュニティカフェ開設に結びつけていく。メーリングリストやFacebookに交流するグループを設けた。</p>	2

新しい公共の場づくりのためのモデル事業 自己評価シート

		<p>実際に開いたコミュニティカフェの事例が増えたら、再び発表会を開きたいが、自己資金が乏しいため、中野区役所などを使い、お金がかからない形で行いたい。</p>	
5	<p>マルチステークホルダー・プロセス</p>	<p>協議体に中野区役所や社会福祉協議会が入ったことにより、事業に信用度が増し、区報やホームページに掲載してもらったことにより、受講生や参加者の募集がスムーズに進んだ。受講生に有益な情報も提供してもらえた。</p> <p>また、実際にコミュニティカフェを開いている地域のNPO等も加わったことにより、コミュニティカフェが市民に身近な存在であることが理解してもらえた。</p> <p>港区にある主担当の長寿社会文化協会も中野地域のことを理解しやすくなった。</p>	3

合計点

17

ランク

A